

<役員退任のご挨拶>

2003 年度を終えるにあたり、以下の 3 名の役員は退任させていただきます。短い間でしたが、同窓生の皆さんにはあたたかいご支援をいただき、ありがとうございました。これからも JAC 活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

副会長：安井 英人（88B）

去年の JR3 では、これまでの反省を含めて若い人に引き継ぐのが自分の役目だと言って、副会長に選んで頂きました。ということで、大変名残惜しいですが、“公約”通り、これで役員を退任させていただきます。バタバタでしたが、とても楽しい 9 ヶ月でした。ご協力本当にありがとうございました。

まだまだ新生 JAC の基盤が整ったとは言えませんが、一応、新たな船出には漕ぎつけられたと思います。これからは若い人たちのフレッシュなアイデアをガンガン注入して疾走してください。なんて、これからも普通に打合せに出るし、いろいろ出しゃばるんだけど。

で、最後に一言。役員会とかコミティとか、人の集まりを動かすには大切な仕組みですが、くれぐれも堅苦しく考えないで下さいね。別にいつも団体として活動しなきゃならないわけじゃない。JAC のコンセプトは、せっかくながりのある皆なんだから、それを利用して楽しいことやっちゃおうってことだと思います。皆で楽しいことやれば、1人でやるよりもっと楽しいでしょ？ 僕は楽しい！ 今後ともどうぞヨロシク。

副会長：長岡 睦（97B）

記念すべき（？）JAC 発足初の役員の任期もあっという間に終わり。“最初は自分にできるだろうか・・・”と思い始めたものの、いつの間にかチームの一員として楽しんでました。UWP の仲間と一緒にいると皆、パワーとアイデアに溢れていて、毎日の仕事と家の往復の生活からちょっと違う世界に飛び込んだ感じがします。毎回の打ち合わせ、行事で皆に会う度に、いろんなことを考えたり、フレッシュなアイデアをもらったり、得てくるものが多かったですね。

いつもちょっと遠まきに JAC の活動を見守って頂いている方々、機会があったら JAC の活動に是非参加してみてください。

役員 4 人、仕事の傍ら“できる限り”でここまでやって来ました。この“できる限り”の皆の力を合わせれば、大きな力になると思います。

1 年弱と短い任期でしたが、ありがとうございました。

会 計：富田 愛里（00E）

活動を開始してからの 9 ヶ月間、私にとって本当に心しみる時間を過ごさせていただきました。同窓会活動を通して、Road を終えて 4 年経ち薄れつつあった当時の感動・躍動感が呼び起こされ、勇気付けられたことも多々ありました。Up 再開という記念すべき年にこのように同窓会活動のあり方を考えられたことは本当に貴重な体験であったと心から感謝しております。実際、形になったことは本当に少ないかもしれません。日本の就業現状の中で、「仕事/家庭/余暇(第 3 の場)」の 3 つ全てを充実させていくことはなかなか難しいことと感じています。しかし細々とでもいいから、誰もがそれぞれの形で心の中に留めている Up での体験がこれからも消えることなく生き続け、少しずつ少しずつ成長していくことを願って、新役員へとバトンタッチさせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。